

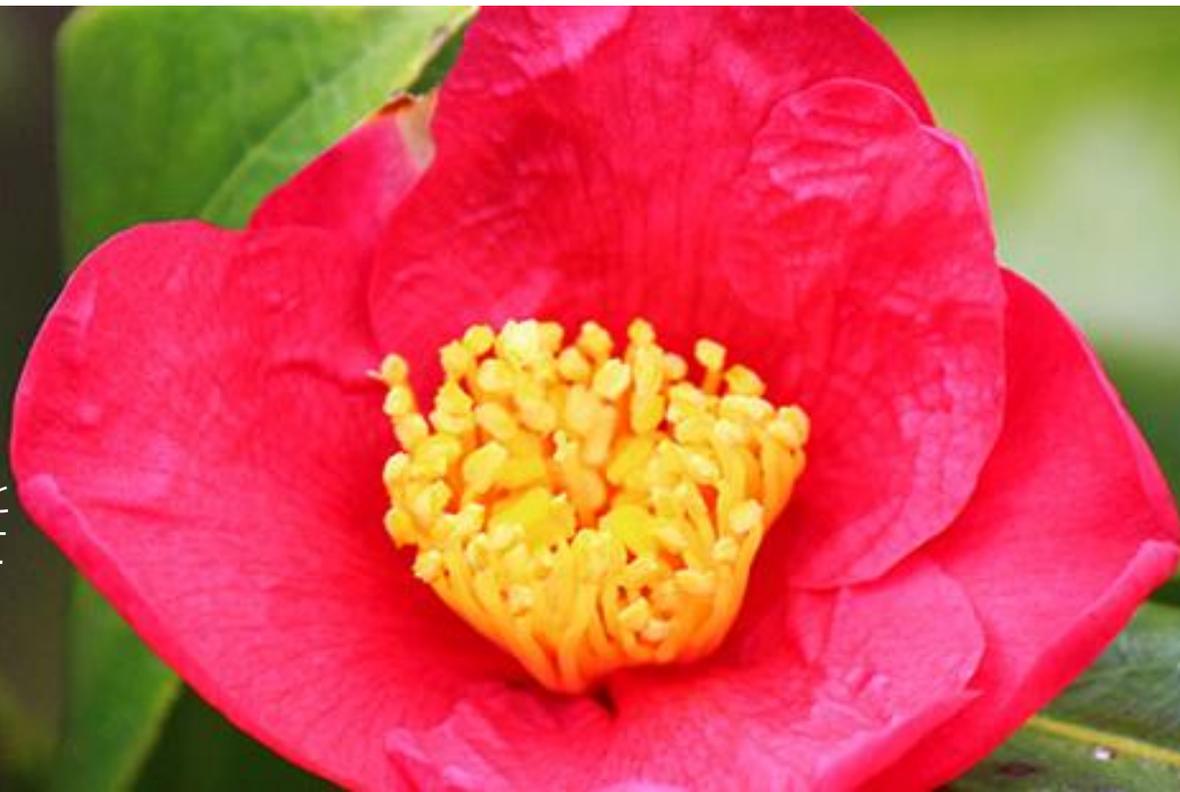
阿賀学レシピ **A-ing**

あなたと子どもたちで、阿賀学を創っていきましょう。

A-ing エーイングと読みます。阿賀学が進行形であることを意味しています。

阿賀町の花 ユキツバキ

約 100 年前に新潟県阿賀町の麒麟山において（世界で初めて）発見され「雪椿」と命名された椿の新種で江戸時代以前から地元住民により種子油の採取や、観賞用として栽培や品種改良がおこなわれていました。



阿賀町教育委員会

水と森のまち 阿賀町

阿賀町は、2005年（平成17年）4月1日、津川町、鹿瀬町、上川村、三川村の新設合併で誕生しました。新潟県面積の約8%を占める広大な町です。

飯豊連峰、御神楽岳、日本平山、五頭連峰等の山々に抱かれ、町の中央を大河「阿賀野川」が悠々と流れ、そこに常浪川、新谷川、実川等幾筋もの支流が注ぎ、四季折々に美しい町です。まさに、「水と森のまち」と言えるでしょう。

また、先史の時代から自然を活かし、自然に生かされ、町を愛する多くの人々の苦勞と英知に支えられ、今日に至ります。

*新潟日報事業社「阿賀町ものしりガイドブック」より引用



阿賀町全景（会津方面から望む）

 [GoogleEarth](https://www.google.com/earth/)



ユキツバキ



三川豆腐



日本酒



鍾馗様



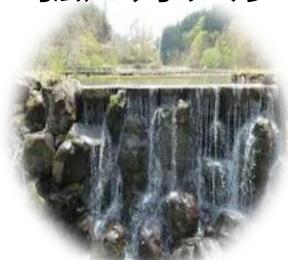
狐の嫁入り



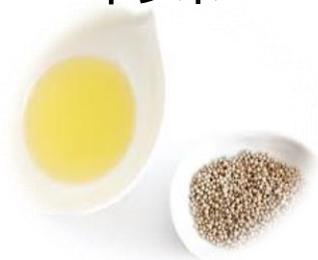
トンボ



カワセミ



たきがしら湿原



エゴマ油



将軍杉



麒麟山



オニグルミ

阿賀学レシピ

「阿賀学ってなあに?」「どうすやってやればいいの?」「これまでの学習と何がちがうの?」。

そのような声にお応えしたく、「阿賀学レシピ」をつくりました。

「阿賀学レシピ」は、「阿賀学」を創る際の「素材」、「手順」をまとめたものです。(かなり簡略的です。)

また、①小学3年生のカリキュラムに取り入れていただきたい、「はじまりの学び『水と森の学習』」、②自然、特産、観光、環境、歴史、未来の六つの分野から、阿賀町のもの・こと(素材)、単元づくりのヒント(レシピ)、阿賀学サポーターズ(阿賀町のひと)を紹介する構成としています。
※「阿賀町のもの・こと」はもっとたくさんあります。

ここにお示したとおりに取り組んでほしいということではありません。「レシピ」ですので、これを手掛かりに先生と子どもたちで学びづくりをしていただきたいのです。また、みなさんのレシピをどんどん追加していただきたいのです。

「もっとこうしたい」「もっとこうしたい」「もっとこうできる!」そうした思いと取組が阿賀学を町全体に浸透させ、よりよい阿賀学に進化させていきます。

一緒に、阿賀学を創っていきましょう。

阿賀学レシピの見方・使い方・創り方

単元名



構成

【出会い・問題意識の醸成】

- 石器や土器の提示。その使い方を想像させる。

【問題意識の醸成】

- 石器や土器を使っていた人々ほどのような生活をしていたか。

【めあて（テーマ）の設定】

- 石器や土器の使い方から、当時の人々の暮らしについて調べることを通じて、当時の人々が環境を利用し、生活を営んでいたことが分かる。

【追求】

- 石器や土器の使い方を調べる。
- 二つの洞窟を実地調査する。
- 阿部泰之さん（阿賀町社会教育課）のお話を伺う。
- 当日の人々の暮らしについて調査結果を踏まえ、話合う。
- 阿賀町の縄文の人々をテーマにプレゼンを作成し、発表する。

【振り返り】

関連情報



1 室谷洞窟（むろやどくつ）

常浪川上流にあり、石器や深鉢、尖底土器、全国的にも珍しい成人女性の人骨体が屈葬の形で発掘されるなど、縄文文化生成期の生活様式を解明する遺跡として注目されています。



2 小瀬ヶ沢洞窟（こせがさわどくつ）

常浪川上流にあり、縄文時代の草創期（約9千年前）に属し、隆線文や押型文などの土器群と共に、狩猟の道具である石斧や石槍などの石器が千数百点も出土しました。



3 阿賀町郷土資料館で出土品を見よう。

所在地：阿賀町両郷甲2200
開館時間：午前10時～午後4時
休館日：月曜・火曜、年末年始



4 文化庁HPで出土品を見よう。

【室谷洞窟跡出土品】
<https://bunka.nii.ac.jp/heritages/detail/207390>
【小瀬ヶ沢洞窟跡出土品】
<https://bunka.nii.ac.jp/heritages/detail/202553>

【単元構成】

単元を、①【出会い】②【問題意識の醸成】③【めあて（テーマ）や課題の設定】④追求（体験や調査、話合い、制作活動、外部への発信、発表活動）⑤【振り返り】で構成してはどうでしょうか？

【教材研究】

関連情報は基本情報です。これを手掛かりに教材研究を進めてみましょう。